

腎摘除術を受けられる

様の入院計画表

(患者ID: _____)

_____年 _____月 _____日

岡山赤十字病院 病棟 (6階南)

泌尿器科 主治医 _____

受持ち看護師 _____

患者様署名 (代理人署名) _____

日付	入院時		手術前日		手術当日		手術後		手術後		手術後		手術後	
	月	日	月	日	月	日	1日目	2日目	3日目	4・5・6日目	7日目	8日目	月	日
達成目標	手術の説明を受け、不安や疑問な点が質問できる。				・鎮痛剤を使用し、疼痛コントロールができる。		・創部に異常がない。		・鎮痛剤を使用し、疼痛をコントロールできる。		・離床の必要性を理解し、離床できる。		・退院できる。	
説明	・入院生活、手術について看護師が説明します。 ・麻酔科医と手術室看護師の手術前の訪問があります。 ・手術に必要なものを準備してください。 (下記参照)				・手術直後、主治医より家族の方に手術についての説明があります。								・退院 今後の日常生活について主治医・看護師がお話します。	
検査					・血圧、脈拍、体温を測ります。		・血圧、脈拍、体温を測ります ・腹部レントゲン (手術中)		・血圧、脈拍、体温を測ります ・採血		・採血		・体温を測ります	
処置	《必要物品》 バスタオル1枚 T字帯 2枚 腹帯 2枚 ティッシュ ペーパー 1箱		・腎尿管全摘の時、毛剃りをします。 ・手術に必要な物を揃え、名前を書いてください。 ・お臍の掃除をします。 ・爪切りをして下さい。		・10時頃より点滴をします。 午後から手術の場合 ・手術衣 (お持ちします) に着替えます ・下肢血栓予防用のストッキングをはきます  ・手術をする側のお腹に印をつけます。 ・____時____分頃手術室へ行きます		・酸素吸入をします (必要に応じて) ・点滴をします ・抗生剤の点滴をします ・手術中 _____ ・夕方 _____ ・腹部に管が入っています ・ガーゼ交換をします ・背中に痛み止めの管が入っています (必要に応じて) ・傷が痛む場合、鎮痛剤を投与します。		・朝までで終了 ・朝 _____ ・夕 _____ ・状態に応じて抜去します ・抜去します		・傷の状態を見て、糸抜きをします。			
安静度	・自由です。				・ベッド上で過ごしてください。		・歩行可能です。合併症予防のため、できるだけ動いてください。							
排泄	・トイレへ歩いて行ってください。				・尿管が入っています。		尿の管を抜きます。				(腎尿管全摘時)			
食事	・普通食が出ます。				・____時から絶食です。 ・____時から絶飲食です。		・帰宅時より飲水可		屋よりおもゆが出ます。		粥食が出ます。		・普通食が出ます。	
清潔	・入浴又はシャワーを浴びてください。				・朝シャワーをあびてください。				・タオルで体を拭き替えます。		タオルを配ります。		・傷やお腹の管が抜けた部分を水に濡れてもよい絆創膏に貼りかえたら、シャワーができます。 ・その翌日から入浴できます。	

特別な栄養管理の必要性 有・無 (どちらかに○)

総合的な機能評価: 自立 ・ 一部介助 ・ 全介助 入院時の用紙を持参してください。

岡山赤十字病院 開始年月日: H16.12 改正年月: H18.3, H24.4, H25.3, H29.4, H31.4